第13回　建築物のロングライフ化に資する研究支援の募集案内

公益社団法人

ロングライフビル推進協会

1. 研究支援の目的

建築物のロングライフ化に資する研究を行っている日本国内に在籍している大学院生の研究活動に対して助成金を交付して支援することにより、建築物のロングライフ化に資する研究を促進することを目的とします。

1. 支援対象研究

建築物のロングライフ化に資するテーマにかかる研究で、ライフサイクル(LC)設計・LCC、維持保全計画(長期修繕計画)、調査診断、改修、建築ストック対策、構造、耐久性、環境保全、省エネルギー・省資源、維持保全教育、BIM等の分野において、その成果が修士論文または博士論文として取り纏められるものを支援の対象とします。

1. 支援を受ける者と助成金の額

令和6年3月までに上記2の研究にかかる論文（修士論文または博士論文）を提出する予定の大学院生を対象に、25万円の助成金を交付します。

1. 選定基準

支援対象の研究の選定基準は、建築物のロングライフ化に資するものとして、研究テーマの設定及び研究計画が優れているとともに、相応の研究成果が得られると見込まれることとします。

注：論文は和文または英文とします。

1. 応募期間

令和5年9月19日（火）～令和5年10月17日（火）　※当日消印有効

1. 応募方法

研究支援を受けようとする大学院生は、「ロングライフ化に資する研究計画 調査票（様式1）」及び「推薦状（様式2）」を当協会ホームページ（ http://www.belca.or.jp/sien.htm ）に掲載）よりダウンロードし、必要事項を記入の上、応募期間内に当協会事務局宛に郵送（消印有効）することとします。

1. 支援対象研究の選定

下記の選定委員会で「ロングライフ化に資する研究計画調査票」等について審議し、4件程度を選定します。

なお、選定に当たっては、必要に応じ、補足調査を行います。

選定委員会（仮）　（順不同、敬称略）

委員長　坊垣 和明　　東京都市大学　名誉教授

伊藤 　弘　　一般財団法人日本規格協会標準化コンサルティングフェロー

北山 和宏　　東京都立大学　都市環境学部 建築学科 教授

国本　 勇　　株式会社大林組　建築本部本部長室　担当部長

輿石 直幸　　早稲田大学 理工学術院 教授

田中 　淳　　公益社団法人　ロングライフビル推進協会　専務理事

1. 助成金の交付

BELCAと当該大学院生との間で、助成の前提条件、助成金の額、論文の著作権等、論文等の提出などに関する事項にかかる研究支援合意書（様式3）を締結します。

助成金は、研究支援合意書に基づき、令和5年12月を目途に指定された口座（様式5）に振り込むことで、当該大学院生に対して交付します。

1. 最終提出物と著作権等
	1. 助成金の交付を受けた大学院生は、研究を了して論文を提出した場合、すみやかに論文の要約（和文1万字程度または英文3500words程度）及び論文（和文又は英文の最終版）の編集可能な電子データ及び印刷物の4点を、指導教員の論文審査合格等確認書（様式4）を添付してBELCAに提出してください。
	2. 論文の著作権は当該大学院生が有するが、BELCAは、その刊行物等に論文の要約を無償で掲載する権利を得るものとします。
	3. BELCAは、応募者の個人情報（氏名、住所、連絡先等）を、応募に関するBELCAからの問い合わせ、選定結果の連絡等本研究支援事業において利用する以外には一切利用しません。
2. 論文が完成しない場合の取り消し等

助成金の交付を受けたときであっても、論文が提出できない場合、指導教員の論文審査合格等確認書が提出されない場合、提出された論文のテーマ・内容等が応募段階のものと著しく異なる場合には、BELCAは助成の取り消しを行うことができます。

助成の取り消しがされた場合、助成を受けた者は速やかに助成金をBELCA に返還するものとします。

以上

ロングライフ化に資する研究計画 調査票

様式1

|  |  |
| --- | --- |
| 研究名 |       |
| 所　属 |       |
| ふりがな |       |
| 氏　名 |       |
| 論文種別 | [ ] 修士論文　　[ ] 博士論文 |  |       | [ ] 教授[ ] 准教授 |
| 　研究目的、テーマ |       |
| 研究の内容、方法 |       |
| 研究成果のイメージ |  |

※　1枚でまとめてください。

様式2

令和　　年     月     日

**推薦状**

公益社団法人　ロングライフビル推進協会

会　長　　　蓮　輪　　賢　治　　殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 所　属 |       | 大学院 |
|  |  |  |
|  |       | 研究科 |
|  |  |  |
|  |       | 専攻 |
|  |  |  |
| 指導教員　　職名 |       |  |
| 氏名 |       | ㊞ |

当研究室に在籍する　　     　　　　　　　　　　が行う下記の研究を、貴協会の研究支援の候補として推薦します。

|  |  |
| --- | --- |
| 研究名 |       |
|  |  |  |

ロングライフ化に資する研究支援合意書

様式3

公益社団法人　ロングライフビル推進協会（以下、甲という）と　○○大学大学院□□□□（以下、乙という）は、甲が乙のロングライフ化に資する研究に助成金を交付するにあたり、次の通り合意した。

（助成の前提）

第１条　　甲は、乙が、次の要件を満たすことを前提に、次条の助成金を支給するものとする。

1. 乙は、令和6年3月末日までに、甲に論文及び論文要約版の印刷物及び編集可能データを提出すること。
2. 提出された論文のテーマ・内容が、応募段階のものと同一であること。
3. 所属大学院所定の審査等に合格等することとし、上記イの提出にあたっては、指導教員の論文審査合格等確認書（様式4）を添付すること。

（助成金の額）

第２条　　助成金の額は、250,000円とする。

（論文に関する権利）

第３条　　成果論文の著作権は、乙に帰属するものとする。

　２．　　甲は、甲の刊行物等に、論文の要約版を無償で掲載する権利を得るものとする。

（成果物の提出）

第４条　　乙は、甲に対し、論文並びに要約版の編集可能な電子データ及び印刷物を、指導教員の論文審査合格等確認書を添付して、令和6年3月末日までに各1部提出するものとする。

（助成金の支払い）

第５条　　甲は、乙と本研究支援合意書を締結した後、甲の選考委員会で決定した乙の助成研究を支援するため、助成金を支払うものとする。

２．　　乙は、「振込先指定用紙」（様式5）により振込先を指定し、甲は乙の指定した振込先に助成金を振り込むものとする。

（取り消し等）

第６条　　乙が助成金の交付を受けたときであっても、論文が提出できない場合、指導教員の論文審査合格等確認書が提出されない場合、提出された論文のテーマ・内容等が応募段階のものと著しく異なる場合その他の場合には、甲は助成の取り消しを行うことができる。

２．　　甲が助成の取り消しを行った場合、乙は速やかに助成金を甲に返還するものとする。

（その他）

第７条　　その他、この合意書に定めのない事項が生じた場合及び取扱いに疑義が生じた場合は、甲及び乙は互いに誠実に協議の上、取扱いを決定する。

　　　　上記確認の証として本書2通を作成し、甲乙各1通を保有する。

令和　　年　　月　　日

甲　　東京都港区浜松町2-1-13　芝エクセレントビル4階

　　　　公益社団法人　ロングライフビル推進協会

　　　　会　長　　　蓮　輪　　賢　治　　　　 ㊞

乙　 住所

　　 氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

様式4

論文審査合格等確認書

公益社団法人　ロングライフビル推進協会

会　長　　　蓮　輪　　賢　治　　殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 所　属 |       | 大学院 |
|  |  |  |
|  |       | 研究科 |
|  |  |  |
|  |       | 専攻 |
|  |  |  |
| 指導教員　　職名 |       |  |
| 氏名 |       | ㊞ |

当研究室に在籍する　　     　　　　　　　　　　が作成した下記論文が、所定の審査合格等をしたものであることを確認します。

|  |  |
| --- | --- |
| 論文名 |       |

振込み先指定用紙

様式5

|  |
| --- |
| ふりがな氏　　　名 ㊞ |
| 大　学　名 |
| [ご連絡先]住 所（自宅） |
| 電 話（自宅） |
| E-mail |

※E-mailにつきましては、支援実施後も継続して連絡可能なものを記載してください。

また、連絡先が変更になった場合は速やかにご連絡下さい。

[銀行振込口座]

|  |  |
| --- | --- |
| 振込先銀行名 |  |
| 本支店名 |  |
| 口座種別 | 普通　・　当座 |
| 口座番号 |  |
| 口座名義（フリガナ） |  |

※ご記入いただきました個人情報は当該事業以外には使用いたしません。